

## 普及活動情勢報告（令和5年8月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

今年のシシトウはどうですか？

～北幡シシトウ現地検討会～



現地検討会の様子

8月2日・3日、JA高知県十和園芸部シシトウ部会を対象に現地検討会を8か所で開催し、のべ27名の参加がありました。

普及所からは、非辛みシシトウ‘高育交シシ15号’（以下‘15号’）の今後の県の動向について説明しました。

参加者からは、「‘15号’の名前はいつ決まるのか」や「‘15号’の収量性や品質はどうなのか」など、積極的な質問がありました。

普及所は、今後もJA等関係機関と連携し北幡地域のシシトウの生産振興を進めていきます。

新規就農者確保に向けた情報交換をしよう！ 高南地域営農協議会の新規就農グループ勉強会



勉強会の様子

8月18日に農業担い手育成センターで、高南地域営農協議会企画担い手部会の関係機関職員など16名が参加し、新規就農者支援に向けた勉強会を開催しました。

農業担い手支援課からは、県内の新規就農者の確保状況と支援策、農業担い手育成センターからは、過去の研修実績や研修生の募集について、普及所と町からは、管内の新規就農者の確保及び支援制度活用状況と地域での取組内容について報告し、関係者で情報共有と意見交換を行いました。

参加者からは、「担い手育成センターでの研修のタイミングに注意すること」「女性の就農には体力が必要」など、現場の実態に即した幅広い意見交換を行うことができました。

普及所はグループ長を担い、次回は年明けの開催を計画しています。

ピーマンの栽培状況を共有しよう！ ～夏秋ピーマン部会 現地検討会～



現地検討会の様子

8月18日にJA高知県四万十夏秋ピーマン部会の現地検討会が開催され、部会員15名が参加し、5名のほ場を巡回しました。

各ほ場では、ピーマンの生育状況や栽培管理、病害虫の発生状況について活発な意見交換が行われました。普及所からは、遮光シートの実証ほについて経過報告を行いました。

参加者からは、「病害虫の発生状況を知れてよかった」「遮光シートの下は涼しくて、作業がしやすそう」といった意見がでました。

普及所では、今後も夏秋ピーマンの生産安定に向けて支援を行っていきます。



現地検討会の様子

8月23日、JA高知県四万十エコ栽培米生産部会 出穂期現地検討会が開催され、生産者12名が参加しました。

普及所からは、病害虫の発生予察情報について説明し、その後、参加者全員のほ場を巡回しながら、生育状況と病害虫の発生状況などを確認し、活発な意見交換が行われました。

生産者からは、「今年の気象条件は、トビイロウンカの被害が発生する可能性があることを理解できた」「防除が手遅れにならないようほ場の見回りをしっかりと行いたい」といった声が聞かれました。

普及所は、今後も管内の高品質米の安定生産を支援していきます。